

# 町長日誌 No.182



町長日誌の第182号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月10日(月) AM10:00

今年は暖冬なのだろうか？と思うぐらい11月から今月初めにかけては暖かく価格の高い灯油を節約できるので良かったなあと考えていましたが、やはり冬將軍は遅れながらもやってきました。7日から強い寒気が日本上空に入り本州でもかなりの冷え込みで町内でもやっと雪が積もり週末には今シーズン初めて除雪車の出動となりました。しかし、そんなに多くの雪が降るわけではなく少しずつ静かに冬の装いになってきました。寒くなったためか、底建て網にカレイやイカが少し獲れているようですが、この時期になると海は時化やすいのであまり期待はできないようです。

12月2日(土)

毎年年末恒例のチャリティー演芸会が開催されました。早いものでこの会も30回目を迎えました。町が130年目の節目の年と重なることから、今年は自治会連合会の役員有志がバンドを結成して素晴らしい演奏を披露してくださいました。桜木勇吉連合会長と町田信一沙留港町会長の素晴らしいハーモニカ、片山義則元町会長のマリンバと鉄琴、山田尚儀旭町会長のウクレレ、桑野幹夫沙留旭町会長のキーボード、ドラムは佐藤克宏豊野会長と打楽器が上出憲吉新町会長・高原直宮下会長の8名が過酷な練習？の成果を十分に発揮され素晴らしい演奏となりましたので、会場からはアンコールの声が鳴りやみませんでした。しかし、アンコールに答えるだけの体力が残っていないことと曲を用意していなかったため無情にも幕は下りてしまいました。(冗談です。)しかし、自治会長さんたち自らチャリティーを盛り上げようというこのお気持ちが私は素晴らしいと心からの感謝を申し上げたいと思います。本当にご苦労様でした。

12月5日(水)

午後から議会の協議会が開催され12月定例会に提出予定の議案などを協議して頂きました。その中で、少し価格は下がり気味ではありますが1ℓ当たり100円を超えている灯油など厳寒期を迎えるにあたり所得の低い方々に対して「福祉灯油等支給事業」を平成26年以来4年ぶりに行うことになりました。12月14日開催の定例会で決定後にお知らせしますが、あくまでも町民税非課税の高齢者・子育て・障がい者・ひとり親などの世帯に限定され1万円の商品券を支給する予定です。少しでも温かいお正月を皆で迎えられればと考え実施します。後ほど「町からのお知らせ」などで詳細をご連絡しますので該当者の方は是非ともご利用ください。

12月9日(日)

冷え込んだ日曜日でしたが外は一面の銀世界となり、はまなす幼稚園恒例のクリスマス祝会が中央公民館で開催されました。子供たちの遊戯や劇はなかなかの出来栄で、なかでも年長であるひまわり組の創作劇「マララの夢と勇気」は最年少の17歳でノーベル平和賞を受けたパキスタン人のマララ・ユスフザイさんのことを描いた劇で、学校に通うことのできない子供、差別を受けている女性、そして何よりも弱い立場の人々が最も犠牲となる戦争などについてつくられた劇です。たどたどしい子供たちのセリフではありませんでしたが素晴らしい出来栄の劇でした。ただ、インフルエンザが流行り出していて何人かの子供が欠席なのがとても残念でした。今年もそんな季節となりましたので、うがいや手洗いと部屋の湿度の確保に十分注意してください。

さて、この日誌が届くころには平成31年のお正月になっていると思います。今年も大変お世話になりました。あまり天候が良くない一年であった気がしますが、それでも災害もなく穏やかな平成30年であったと思います。来る平成31年も皆様にとって素晴らしい年であります様心から願っています。ただ、平成31年は4月までで5月には新しい年号になります。さて、「？」という年号になるのでしょうか？楽しみですね。どうか、皆様良い年をお迎えください。

では、また来年。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

